

検査かわら版

検査値の見方

発行：佐賀大学医学部
附属病院検査部
責任者：末岡 榮三朗
佐賀市鍋島5-1-1



検査項目名		正式名称	基準範囲	単位	説明
血液一般検査	WBC	白血球数	3.3～8.6	×10 ³ /μL	病原微生物などから体を守る細胞で、炎症や感染症の場合増加します。
	RBC	赤血球数	男:4.35～5.55 女:3.86～4.92	×10 ⁶ /μL	赤血球は、全身に酸素を運ぶ役割をしています。赤血球、血色素、ヘマトクリットで貧血の有無を調べます。
	Hb	血色素量	男:13.7～16.8 女:11.6～14.8	g/dL	
	Ht	ヘマトクリット値	男:40.7～50.1 女:35.1～44.4	%	
	MCV	MCV	83.6～98.2	fL	
	MCH	MCH	27.5～33.2	pg	
	MCHC	MCHC	31.7～35.3	%	
	PLT	血小板数	男:13.1～36.2 女:13.0～36.9	×10 ⁴ /μL	血を止める細胞で、低下すると出血しやすくなります。
	新PLT	新血小板数	158～348	×10 ³ /μL	同上
	幼PLT	網血小板数	1.1～6.1	%	新しく作られた血小板の割合を反映します。
	Neutro	好中球	41.8～73.8	%	白血球は5種類に分類でき、好中球は細菌感染症などで増加します。また、リンパ球はウィルス感染症で増加します。
	Lympho	リンパ球	18.3～47.5		
	Mono	単球	2.5～7.3		
	Eosino	好酸球	0.0～5.6		
	Baso	好塩基球	0.1～1.3		
Ret	網赤血球数	0.8～2.0	%	新しく作られた赤血球の割合を反映します。	

凝固・線溶

検査項目名		正式名称	基準範囲	単位	説明	
血液凝固検査	PT	sec	時間	10.0～13.0	秒	出血傾向の診断に用いられます。肝障害で時間が延長します。また、薬剤の治療指標になります。
		%	活性値	70.0～130.0	%	
		INR	INR	0.90～1.15		
	APTT	sec	時間	25.0～40.0	秒	出血傾向の診断に用いられます。肝疾患や血友病で時間が延長します。
		%	活性値	70.0～130.0	%	
	Fib	フィブリノゲン	生後30日まで 162.0～378.0	mg/dL	急性炎症や組織の破壊などで増加します。	
生後31日以降 200.0～400.0						